

# 新型 コロナ

## 政府「第2弾」対策費は1桁足りない

## 国民の不安にこたえる 財政措置と支援策を



# 共産党・小池書記局長が強調

日本共産党の小池晃書記局長は3月10日、政府の「新型コロナウイルス感染症対策本部」が決定した緊急対応策「第2弾」について「これでは新型コロナウイルス感染症の広がりに対する国民の不安に応えるものにならない」と批判。米国や韓国はすでに1兆円規模の予算を組んでいるとして、「予備費の範囲だけの対策ではなく、現在審議されている来年度予算案の修正を行い、来年度までみすえた抜本的な対策を打ち出す責任が政府にある。引き続きそのことを求めていきたい」と述べるとともに、「いまやるべきは政治の責任として国民の不安に応える財政措置と、きめ細やかな支援策をとることだ」と強調しました。

### フリーランスへの支援もっと

小池氏が予算委員会で「サラリーマンの保護者には給付金を出し、フリーランスは貸し付けというのはおかしい」と追及したことについて、「今回の提案は、フリーランスへの給付が一応盛り込まれたが、対象となるのは、休校になるお子さんのいる方だけだ。政府が要請したイベント自粛で仕事が失われ、収入が断たれた業者、劇団員、音楽家などに対する対応がまったくない」と指摘しました。

また、子どもが休校で休んだ場合でも、フリーランスへの給付は1日4100円であり、雇用者への給付金は8330円だとして、「フリーランスはなぜ半額か、あまりに理不尽だ」と指摘しました。

### 中小企業への資金繰りも

また、資金繰り対策の規模が5000億円から1兆6000億円になったことについても、2008年のリーマン・ショックでは緊急保証制度が20兆円、1998年の金融危機では、金融安定化特別保証制度に30兆円が、貸し渋り対策として組まれたことに言及し、「今回は、1桁足りないと言わざるを得ない」と述べました。

### 政府の専門家会議副座長も 「高齢者は早目の受診を」

同日に開いた参院予算委員会公聴会で小池書記局長は、政府の感染症対策本部の専門家会議副座長の尾身氏らに質問。小池氏は、政府が37・5度以上発熱しても4日までは経過観察としていることについて「重症患者を見落とす危険性はないか」と質問。尾身氏は、高齢者は2日の発熱で相談・受診を案内しているとして、「少し説明の仕方が悪かったと思う。高齢者の方は放っておいたら悪くなる。早めに(相談・受診を)やるのは賛成です」、「個人的には初日でも良いと思う」と語りました。



日本共産党の提案について詳しくはHPで→



## 命・健康とくらしを守る政治を!!

新型コロナウイルス対策、一律休校などに関連してお困りのことや実態など、ぜひ最寄りの共産党員、地方議員、党事務所などにお寄せください。



参議院議員(東京選挙区選出)  
やまぞえ・たく

# 山添 拓

## 日本共産党

東京  
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

新型  
コロナ

政府「第2弾」対策費は1桁足りない

国民の不安にこたえる  
財政措置と支援策を



共産党・小池書記局長が強調

日本共産党の小池晃書記局長は3月10日、政府の「新型コロナウイルス感染症対策本部」が決定した緊急対応策「第2弾」について「これでは新型コロナウイルス感染症の広がりに対する国民の不安に応えるものにならない」と批判。米国や韓国はすでに1兆円規模の予算を組んでいるとして、「予備費の範囲だけの対策ではなく、現在審議されている来年度予算案の修正を行い、来年度までみすえた抜本的な対策を打ち出す責任が政府にある。引き続きそのことを求めていきたい」と述べるとともに、「いまやるべきは政治の責任として国民の不安に応える財政措置と、きめ細やかな支援策をとることだ」と強調しました。

## フリーランスへの支援もっと

小池氏が予算委員会で「サラリーマンの保護者には給付金を出し、フリーランスは貸し付けというのはおかしい」と追及したことと触れて、「今回の提案は、フリーランスへの給付が一応盛り込まれたが、対象となるのは、休校になるお子さんのいる方だけだ。政府が要請したイベント自粛で仕事が失われ、収入が断たれた業者、劇団員、音楽家などに対する対応がまったくない」と指摘しました。

また、子どもが休校で休んだ場合でも、フリーランスへの給付は1日4100円であり、雇用者への給付金は8330円だとして、「フリーランスはなぜ半額か、あまりに理不尽だ」と指摘しました。

## 中小企業への資金繰りも

また、資金繰り対策の規模が5000億円から1兆6000億円になったことについても、2008年のリーマン・ショックでは緊急保証制度が20兆円、1998年の金融危機では、金融安定化特別保証制度に30兆円が、貸し渋り対策として組まれたことに言及し、「今回は、1桁足りないと言わざるを得ない」と述べました。

## 政府の専門家会議副座長も 「高齢者は早目の受診を」

同日に開いた参院予算委員会公聴会で小池書記局長は、政府の感染症対策本部の専門家会議副座長の尾身氏らに質問。小池氏は、政府が37・5度以上発熱しても4日までは経過観察としていることについて「重症患者を見落とす危険性はないか」と質問。尾身氏は、高齢者は2日の発熱で相談・受診を案内しているとしつつ、「少し説明の仕方が悪かったと思う。高齢者の方は放っておいたら悪くなる。早めに(相談・受診を)やるのは賛成です」、「個人的には初日でも良いと思う」と語りました。



日本共産党の提案について詳しくはHPで→



# 命・健康とくらしを守る政治を!!

新型コロナウイルス対策、一律休校などに関連してお困りのことや実態など、ぜひ最寄りの共産党員、地方議員、党事務所などにお寄せください。

東京  
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2020年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党